

編輯室より

△本號をカント記念號として捧ぐ。但し、哲學者たる彼の哲學に全然觸れる事なくして、彼の天文學的學說と彼の自然科學の一面に言及せしに過ぎざるを遺憾とする。

△カントの哲學を貫流して其基調を成す三つの確信がある。意志の自由と靈魂の不滅と神の實在とが是れなりと云ふ。彼は頭上に星まばゆき大空と心胸の奥なる道德律と、二つもの心を探望し、又顧みる毎に、讚美と畏敬の心を溢れた人であつて、ゾロアスターの言へりし

是等の諸天を光を以つて裝はるべく初めて企てたはひし彼、

彼は彼の智慧に由り正義の創造者にして、それをもつて最善の心を支へんとし給へりとの言葉に呼應したる心的態度の所有者であつた。

△H.W.モーンガー氏の所説の要點は「科學は事物の絶對的の元始に溯るこゝに出來ず、又その絶對的の終末に迄到達することも出來ない。それ故に此の二事に關しては神の默示に由らざるべからず、それは彼こそアルファにしてオメガ、終りに在る者、萬物は彼に由りて創造され、終りに再び新たにせらるればなり。」と云ふにあり。

△本號に中村要君の有益なる記事の見えざるを皆様に共に惜む、同君は非常に多忙な上に風邪であつたと云ふ。

△次號より荒木講師の「通俗天文講話」を連載し得る豫定である。

△會員名簿作製について在米山本一清氏より

同氏歸朝後に延期を申越さる。一理あればその提議に従ふ事とせり。

公表

岡山支部員(現住、東京市牛込區揚場町一)守屋荒美雄氏は今回岡山支部備付け三吋望遠鏡購入費の内入金として金壹百圓也寄附せられたり。三月十日附を以つて名譽會員に推薦せり。

事務室より

△三月號天界の遅延の爲め本號も從つて遅延せしを御寛容あらん事を。

△英獨星圖豫約者以外の方より申込みありしも數に限りあるを以つて余儀なく注文を發する事とせり。

△前金切の會員が三月號では約四百二十名位であつた、之れで大分減つた方です。どうか前金納者に對する負債返却の意味で速かに御拂込み下さい。

天文同好會總會廣告

來る四月二十日(日)午後一時より本會總會を京都大學物理學講堂に於いて開く。當日幹部改選、改正案決議の後、新城博士、上田助教の御講演を乞ふ筈、來會者は各自提案をなされるべく、殊に各支部は其の代表者或は書狀を以つて議案を提出せられたし。

改正案

一、會費を毎月二十錢より三十錢に改む。

一、名譽會員は一時に百圓以上を寄附したる者又は百名以上の會員を紹介せし者たるべし。

一、觀測部の處置について。

(三三)

天文同好會

本會 京都帝國大學
 同志社支部 京都市
 東京支部 第一朱雀小學學校
 中京支部 京都市錦小路油小路東
 西陣支部 京都市第七本松五辻下
 三高支部 京都市東區安土町三丁目
 大坂支部 大坂市東區安土町三丁目
 神戸支部 神戸市中山手通七丁目
 甲南支部 兵庫縣三木市高等女學校
 岡山支部 岡山市門田二十一
 美作支部 岡山縣吉田郡津山町大字
 上ノ町

名古屋支部 名古屋市中區區東芳野町五九
 上田支部 長野縣上田高等女學校
 長野支部 長野市長野小學校本部
 高水支部 長野縣下高井郡瑞穂小學校
 諏訪支部 長野縣諏訪市中學校
 廣島支部 廣島市研屋町五一
 九州支部 福岡縣山崎町高等學校化學教室
 山口支部 山口町山口高等學校化學教室

仙臺支部 仙臺第二高等學校
 大正十三年三月廿四日印刷(定價二十五錢)
 大正十三年三月廿五日發行(郵政金五厘)

編輯兼發行者 天文會
 右代表者 山本一清
 發行所 京都帝國大學天文會
 印刷所 京都市下京區西洞院七條南入
 内外出版株式會社印刷部

賣捌所 警
 東京京橋銀座星張町
 丸善株式會社
 東京京都大阪福岡仙臺